

環 境 係

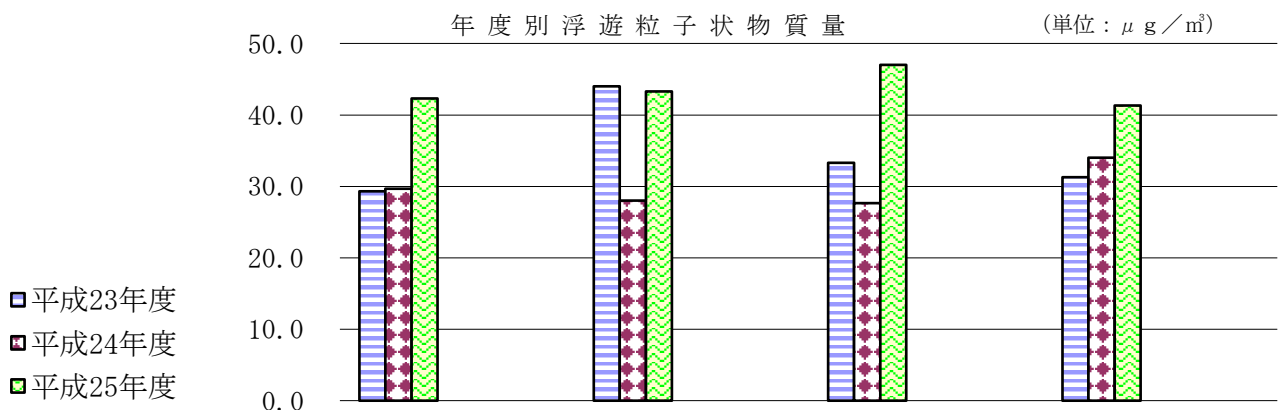
1 大気汚染調査

(1) 浮遊粒子状物質質量及び浮遊粒子状物質中に含まれる重金属量

調査期間：平成26年2月18日から同月20日まで

調査地点：市内4箇所

ア 浮遊粒子状物質質量



区分	市役所	武蔵野台児童館	市民会館	第二小学校
平成23年度	29.3	44.0	33.3	31.3
平成24年度	29.7	28.0	27.7	34.0
平成25年度	42.3	43.3	47.0	41.3

※ 平成23年度より松林会館から武蔵野台児童館に測定地点を変更

※ 外装工事のため、平成23年度の市民会館で行う測定は福生第三小学校にて実施

イ 浮遊粒子状物質中に含まれる重金属

調査地点・年度	市役所		武蔵野台児童館		市民会館		第二小学校	
	平成25年度	前年度	平成25年度	前年度	平成25年度	前年度	平成25年度	前年度
鉛	0.008	0.008	0.008	0.007	0.009	0.008	0.009	0.008
マンガン	0.021	0.014	0.023	0.011	0.023	0.013	0.022	0.017
バナジウム	0.002	0.002	0.002	0.001	0.002	0.002	0.002	0.002
全クロム	0.003	0.002	0.003	0.002	0.005	0.003	0.003	0.003

※ 数値は、1日平均の3日間平均の量である。

※ 単位： $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (μg (マイクログラム) は100万分の1g)

※ 平成23年度より松林会館から武蔵野台児童館に測定地点を変更

ウ 微小粒子状物質 (PM2.5)

調査期間：平成26年2月18日から同月20日まで

区分	商工会館	環境基準
平成25年度	15.8	1年平均値が $15\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であり、かつ、1日平均値が $35\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。

※ 数値は、1日平均の3日間平均の量である。

※ 単位： $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (μg (マイクログラム) は100万分の1g)

(2) 燃料に含まれるイオウ分

調査日：平成26年3月5日

調査事業所数：3事業所（燃料使用量3000ℓ/日以上）

事業所	燃料の種類(重油)	1日の最大使用量(ℓ/日)	イオウ含有量(Wt%)		基準値(W t%)
			平成25年度	前年度	
A	特A	1,000	0.07	0.08	0.8
B	〃	—			
C	A	—			
D	〃	—		0.09	
E	〃	—			
F	〃	—		0.06	
G	〃	800	0.07	0.12	
H	特A	1,200	0.06	0.06	
I	A	—			
J	〃	—			
K	〃	—			

※ W t % : 質量パーセント、検出下限値0.05

※ 重油施設の廃止等に伴い、3事業所に変更

(3) 二酸化窒素 (NO₂)

調査日：平成26年2月19日

調査地点：市内12地点

No	調査地点(交差点)	測定値(ppm)		環境基準値
		平成25年度	前年度	
1	武蔵野橋北	0.032	0.021	0.06
2	武蔵野橋南	0.031	0.025	
3	熊川内出	0.030	0.024	
4	第五ゲート前	0.038	0.030	
5	福生志茂南	0.032	0.020	
6	多摩橋北	0.029	0.019	
7	福生駅西	0.039	0.023	
8	福生加美	0.031	0.023	
9	福生加美平	0.034	0.017	
10	福生市役所前	0.030	0.021	
11	武蔵野台北	0.033	0.019	
12	第二ゲート前	0.046	0.037	

※ 数値は、1時間値の1日平均値である。

(4) 光化学スモッグ注意報発令状況

地域 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	前年度合計
区 東部	0	0	0	3	2	0	5	3
区 北部	0	0	0	3	2	0	5	2
区 西部	0	0	0	4	4	0	8	3
区 南部	0	0	0	4	3	0	7	3
多摩北部	0	0	0	7	5	0	12	2
多摩中部	0	0	0	7	4	0	11	2
多摩西部	0	0	0	5	3	0	8	2
多摩南部	0	0	0	7	2	0	9	2
合計	0	0	0	40	25	0	65	19

※ 多摩西部の測定地点は、福生市本町及び青梅市東青梅である。

2 水質調査

(1) 河川及び下水道（雨水管）

pH(水素イオン濃度) …酸性・アルカリ性の度合いの指標

BOD(生物化学的酸素要求量) …微生物に分解されやすい有機物量の目安

SS(浮遊物質) …1μm以下のフィルターに残存する成分の量

ア 多摩川（河川）

区分		5月	7月	9月	11月	1月	3月	環境基準
pH	平成25年度	8.7	8.0	7.7	8.7	8.0	7.6	6.5~8.5
	平成24年度	7.6	8.2	8.2	8.5	8.3	8.4	
	平成23年度	8.6	8.0	7.5	7.4	7.8	7.7	
BOD	平成25年度	0.6	1.7	0.9	0.0	0.8	0.9	2 mg/ℓ
	平成24年度	0.3	0.9	ND	0.3	0.6	0.4	
	平成23年度	0.8	0.9	1.1	0.3	ND	0.3	
SS	平成25年度	0.0	3.5	2.0	0.0	0.0	1.5	25.0mg/ℓ
	平成24年度	1.0	2.0	1.5	ND	0.5	1.0	
	平成23年度	2.0	2.0	40.0	3.0	2.0	5.0	

イ 下の川（河川）

区分		5月	7月	9月	11月	1月	3月	環境基準
pH	平成25年度	7.8	7.8	7.1	7.5	7.7	7.5	6.5~8.5
	平成24年度	7.3	7.7	7.8	8.1	7.7	7.7	
	平成23年度	8.0	7.6	7.4	6.7	7.6	7.5	
BOD	平成25年度	0.4	1.6	1.3	0.0	0.7	0.7	2 mg/ℓ
	平成24年度	0.8	0.7	ND	0.2	0.2	0.3	
	平成23年度	0.7	1.0	0.7	0.6	0.5	0.8	
SS	平成25年度	0.7	2.0	11.3	0.0	0.7	6.3	25.0mg/ℓ
	平成24年度	0.3	0.7	3.3	ND	ND	0.7	
	平成23年度	1.0	1.0	14.3	2.3	1.3	4.7	

ウ 都市下水路（雨水管）

区分		5月	7月	9月	11月	1月	3月	排水基準
pH	平成25年度	8.3	7.8	6.8	8.4	8.2	7.4	5.8~8.6
	平成24年度	7.5	8.1	8.1	7.8	7.9	8.0	
	平成23年度	8.0	8.0	7.7	7.4	8.7	7.6	
BOD	平成25年度	0.0	1.2	2.1	0.0	0.8	0.7	160mg/ℓ
	平成24年度	1.4	0.8	ND	1.9	0.7	1.2	
	平成23年度	ND	1.0	0.7	ND	0.6	ND	
SS	平成25年度	0.0	0.0	16.0	0.0	0.0	0.0	200.0mg/ℓ
	平成24年度	1.0	2.0	2.0	2.0	3.0	3.0	
	平成23年度	ND	7.0	1.0	ND	ND	3.0	

エ 本町幹線（雨水管）

区分		5月	7月	9月	11月	1月	3月	排水基準
pH	平成25年度	9.7	8.3	7.2	8.7	8.5	7.4	5.8~8.6
	平成24年度	7.6	9.1	8.6	9.0	8.5	9.1	
	平成23年度	8.0	8.4	7.4	7.1	7.9	7.4	
BOD	平成25年度	1.1	1.7	1.8	2.4	1.2	0.8	160mg/ℓ
	平成24年度	1.5	1.2	0.6	0.6	0.6	2.2	
	平成23年度	0.8	1.0	0.6	ND	ND	1.0	
SS	平成25年度	4.0	4.0	12.0	2.0	6.0	1.0	200.0mg/ℓ
	平成24年度	4.0	2.0	3.0	2.0	1.0	11.0	
	平成23年度	4.0	2.0	140.0	5.0	ND	14.0	

※ 都市下水路及び本町幹線は、排出口での採水

※ 基準値を超えているものは、色付けをしている。

※ ND：定量下限値未満

(2) 多摩川合同採水

採 水 年 度		平成25年度		平成24年度	
採 水 月 日		6. 6 (木)	11. 14(木)	6. 7 (木)	11. 1 (木)
採 水 時 間		午前11時30分		午前11時30分	
流量	m ³ /sec	2. 1	2. 5	2. 7	2. 1
気温	℃	26. 5	12. 0	25. 2	17. 5
水温	℃	20. 6	12. 5	20. 1	18. 2
外観		無色	無色	無色	無色
臭気		無臭	無臭	無臭	無臭
透視度		>100. 0	>100. 0	>100. 0	>100. 0
pH (水素イオン濃度)		8. 3	8. 7	9. 0	9. 1
DO (溶存酸素)	mg/ℓ	10	12	10	11
BOD (生物化学的酸素要求量)	mg/ℓ	0. 6	<0. 5	0. 8	<0. 5
COD (化学的酸素要求量)	mg/ℓ	1. 3	0. 8	1. 2	0. 6
SS (浮遊物質量)	mg/ℓ	2	<1	<1	<1
T-CN (シアン化合物)	mg/ℓ	不検出	不検出	不検出	不検出
Pb (鉛)	mg/ℓ	<0. 002	<0. 002	<0. 002	<0. 002
NH ₄ -N (アンモニア性窒素)	mg/ℓ	0. 01	0. 01	0. 02	<0. 01
T-N (全窒素)	mg/ℓ	0. 92	1. 3	0. 91	0. 85
PO ₄ -P (リン酸性リン)	mg/ℓ	<0. 003	0. 003	0. 005	0. 006
T-P (全リン)	mg/ℓ	0. 016	0. 007	0. 013	0. 016
MBAS (陰イオン界面活性剤)	mg/ℓ	<0. 02	<0. 02	<0. 02	<0. 02
ジクロロメタン	mg/ℓ	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002
四塩化炭素	mg/ℓ	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002
1, 2-ジクロロエタン	mg/ℓ	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002
1, 1-ジクロロエチレン	mg/ℓ	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002
シス-1, 2-ジクロロエチレン	mg/ℓ	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002
1, 1, 1-トリクロロエタン	mg/ℓ	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002
1, 1, 2-トリクロロエタン	mg/ℓ	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002
トリクロロエチレン	mg/ℓ	<0. 001	<0. 001	<0. 001	<0. 001
テトラクロロエチレン	mg/ℓ	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002
1, 3-ジクロロプロペン	mg/ℓ	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002
ベンゼン	mg/ℓ	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002
チウラム	mg/ℓ	<0. 0006	<0. 0006	<0. 0006	<0. 0006
シマジン	mg/ℓ	<0. 0003	<0. 0003	<0. 0003	<0. 0003
チオベンカルブ	mg/ℓ	<0. 0003	<0. 0003	<0. 0003	<0. 0003
セレン	mg/ℓ	<0. 002	<0. 002	<0. 002	<0. 002
大腸菌群数	MPN/100ml	13000	2400	1300	490
カドミウム	mg/ℓ	<0. 001	<0. 001	<0. 001	<0. 001
六価クロム	mg/ℓ	<0. 01	<0. 01	<0. 01	<0. 01
ヒ素	mg/ℓ	<0. 001	<0. 001	<0. 001	0. 001
総水銀	mg/ℓ	<0. 0005	<0. 0005	<0. 0005	<0. 0005
アルキル水銀	mg/ℓ	不検出	不検出	不検出	不検出
PCB	mg/ℓ	不検出	不検出	不検出	不検出
1, 4-ジオキサン	mg/ℓ	<0. 005	<0. 005	<0. 005	<0. 005
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/ℓ	0. 43	1. 2	0. 72	0. 76
環 境 基 準		水域類型 A		水域類型 A	

(3) 地下水

測定日：平成25年8月14日

測定地点		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	基準値
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/ℓ	3.2	3.6	6.5	10	2.6	0.9	2.8	6.5	6.0	13	10以下
塩化物イオン	mg/ℓ	4.1	7.4	8.4	8.4	3.4	1.6	4.7	6.7	6.3	17	200以下
有機物(TOCの量)	mg/ℓ	0.4	<0.3	0.3	<0.3	0.3	<0.3	<0.3	0.5	0.3	0.6	10以下
一般細菌	個/mℓ	0	75	170	3	280	35	30	25	16	32	100以下
大腸菌群数		不検出	不検出	検出	不検出	不検出	検出	不検出	検出	不検出	不検出	検出されないこと。
鉄	mg/ℓ	<0.02	0.03	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.13	1.0	0.3以下
マンガン	mg/ℓ	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.007	<0.005	0.005	0.009	<0.005	0.05以下
pH(水素イオン濃度)		7.2	7.2	6.7	6.8	7.1	6.7	7.0	6.5	6.5	6.6	5.8～8.6
臭気		異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常でないこと。
味		異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常でないこと。
色度		<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	1	5度以下
濁度		<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	2度以下
トリクロロエチレン	mg/ℓ	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.03以下
テトラクロロエチレン	mg/ℓ	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下
1, 1, 1-トリクロロエタン	mg/ℓ	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	0.3以下

※ 基準値を超えているものは、色付けをしている。

※ 平成19年度より過マンガン酸カリウム消費量を有機物と表記する。

※ 地下水調査は、毎年度測定地点が異なる。

(4) 工場排水

測定日：平成25年10月7日

単位：mg/ℓ (pHと水温を除く。)

測定地点 検査項目	A工場		B工場		基準値
	平成25年度	平成24年度	平成25年度	平成24年度	
pH(水素イオン濃度)	9.3	7.8	6.8	7.4	5.8～8.6
pH測定時水温	21.5℃	24℃	26.3℃	26℃	40℃以下
BOD(生物学的酸素要求量)	2.5	3.2	<0.5	2.3	160
COD(化学的酸素要求量)	6.6	16	1.1	7.3	200
SS	12	120	<1	9	200
カドミウム及びその化合物	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
鉛及びその化合物	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
水銀、アルキル水銀及びその化合物	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.005
銅含有量	<0.05	0.08	<0.05	0.05	3
亜鉛含有量	<0.05	0.19	<0.05	0.07	5
溶解性鉄含有量	<0.05	0.11	<0.05	<0.05	10

(5) 雨水管 (横田基地流入分)

測定日 平成25年6月28日

平成26年2月20日

項目	単位	多摩橋通り		五日市街道		武蔵野幹線		排水基準
		6月	2月	6月	2月	6月	2月	
pH (水素イオン濃度)		6.7	8.2	6.7	7.7	7.0	7.6	5.8-8.6
BOD (生物化学的酸素要求量)	mg/ℓ	1.9	1.2	2.1	0.7	0.7	1.0	160mg/L
SS (浮遊物質)	mg/ℓ	8	7	31	27	<1	11	200mg/L
ノルマルヘキサン抽出物	mg/ℓ	1	<1	1	<1	<1	<1	30mg/L
フェノール類	mg/ℓ	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	5mg/L
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/ℓ	3.1	<0.1	1.0	0.1	2.3	0.2	※
六価クロム	mg/ℓ	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.5mg/L
鉛及びその化合物	mg/ℓ	<0.005	<0.005	0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.1mg/L
カドミウム及びその化合物	mg/ℓ	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.1mg/L
総水銀化合物	mg/ℓ	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.005mg/L
アンモニア性窒素	mg/ℓ	0.05	0.04	0.04	0.07	<0.01	0.01	100mg/L
リン酸性リン	mg/ℓ	0.046	0.005	0.047	0.046	0.034	0.011	※
陰イオン界面活性剤	mg/ℓ	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	※
有機リン化合物	mg/ℓ	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1mg/L
有機体炭素	mg/ℓ	1.9	1.1	0.9	1.0	0.6	0.9	※
セレン及びその化合物	mg/ℓ	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.1mg/L
ヒ素及びその化合物	mg/ℓ	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.1mg/L
全リン	mg/ℓ	0.070	0.024	0.085	0.078	0.037	0.035	16mg/L
シアン化合物	mg/ℓ	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	1mg/L

※排水基準の設定なし

3 騒音調査

(1) 自動車交通量・交通騒音調査

ア 交通量

(単位：台)

道路通称	国道16号線	睦橋通り	新奥多摩街道	五日市街道	
測定場所	横田ホーム前	真福寺付近	市役所前	さくら会館前	鈴島建設前
用途地域	近隣商業	第一種住居	近隣商業	第二種中高層住居	準工業
車線数	4	4	2	2	2
測定日	平成25年 12月12日～13日	平成26年 1月20日～21日	平成25年 12月4日～5日	平成25年 12月26日～27日	平成25年 12月17日～18日
上り	25,074	10,026	8,262	4,494	11,346
下り	24,810	10,668	8,154	3,978	8,070
合計	49,884	20,694	16,416	8,472	19,416
前年度合計	58,344	24,072	20,604	8,460	20,610

※ 都心方面を上り、逆を下りとする。

イ 騒音

(単位：デシベル＝dB)

道路通称	国道16号線	睦橋通り	新奥多摩街道	五日市街道		
測定場所	横田ホーム前	真福寺付近	市役所前	さくら会館前	鈴島建設前	
用途地域	近隣商業	第一種住居	近隣商業	第二種中高層住居	準工業	
車線数	4	4	2	2	2	
測定日	平成25年 12月12日～13日	平成26年 1月20日～21日	平成25年 12月4日～5日	平成25年 12月26日～27日	平成25年 12月17日～18日	
騒音 (LEQ)	昼間	75	67	64	64	68
	前年度	73	68	65	65	68
	夜間	74	64	60	60	65
	前年度	74	65	62	59	65
環境基準値	昼間	70				
	夜間	65				
要請限度	昼間	75				
	夜間	70				

※ LEQ＝等価騒音レベル

(2) 自動車騒音面的評価

市内でセンサス区間（自動車の運行に伴う騒音の影響が概ね一定とみなせる区間）に指定されている幹線道路20箇所（1箇所は毎年）の自動車騒音調査を5箇年以内に全てを行い評価する。（平成24年度から実施）

環境基準値	昼間	70	※幹線交通を担う道路に近接する空間に関する基準値
	夜間	65	

番号	道路名 (調査場所)	センサス 番号	基準レベル (dB)		残留騒音レベ ル(dB)		達成率(%)		達成戸数(戸)		全戸数 (戸)
			昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	
1	国道16号 (福生市熊川1148-3)	10090	71	70	43	36	86.8	77.2	561	499	646
2	国道16号 (福生市福生2034-3)	10100	73	72	44	39	78.2	65.5	197	165	252
3	杉並あきる野線 (福生市熊川307)	40450	67	64	39	35	99.7	98.7	311	308	312
4	立川青梅線 (福生市牛浜25)	41440	67	61	40	27	99.7	99.7	649	649	651
5	瑞穂あきる野八王子線 (福生市本町1)	61180	61	53	45	34	100	100	250	250	250
6	国道16号 (福生市熊川45)	10080	55	52	42	35	99.1	98.6	216	215	218
7	立川青梅線 (福生市志茂208)	41370	69	65	40	33	99.9	99.2	750	745	751
8	立川青梅線 (福生市熊川139)	41420	66	61	42	29	100	100	216	216	216
9	瑞穂あきる野八王子線 (福生市志茂229)	61190	65	61	41	31	100	99.7	383	382	383

※網掛けは、測定日時①にて測定

※番号1は優先的対策道路区間として毎年評価を行う。

※5箇年をかけて調査を行い、20箇所全ての調査終了段階において評価が確定するため、達成率、達成戸数、全戸数については途中経過の数値であり、毎年数値が変化する可能性あり。

測定日時① 平成25年6月4日(火)正午から6月5日(水)正午まで

測定日時② 平成24年6月4日(月)正午から6月5日(火)正午まで

(3) 航空機騒音調査

ア 測定場所 大字熊川1571番地先 誘導灯付近

月	飛行回数	昼間	夕刻	夜間	月平均 最高音圧レベル (d B)	月平均 時間帯補正等 価騒音レベル (d B)
		7時～19時	19時～22時	22時～翌7時		
4	830	603	219	8	116	64
5	784	515	251	18	118	63
6	932	681	241	10	115	64
7	737	605	119	13	118	68
8	989	856	119	14	116	68
9	963	833	118	12	115	68
10	1119	821	291	7	118	70
11	719	604	105	10	115	63
12	713	566	119	28	115	66
26年1	1380	1083	291	6	116	67
2	848	683	159	6	117	65
3	1123	847	257	19	119	69
合計	11,137	8,697	2,289	151		
前年度合計	8,076	5,866	2,089	121		
平均	928	725	191	13	117	67

※ d B : デシベル

イ 測定場所 本町5番地 市役所屋上

月	飛行回数	昼間	夕刻	夜間	月平均 最高音圧レベル (d B)	月平均 時間帯補正等 価騒音レベル (d B)
		7時～19時	19時～22時	22時～翌7時		
4	292	167	120	5	90	51
5	236	124	111	1	89	49
6	191	108	82	1	90	50
7	149	112	37	0	88	47
8	286	232	54	0	89	49
9	280	198	78	4	89	50
10	306	184	119	3	89	51
11	167	135	26	6	89	46
12	147	84	54	9	87	49
26年1	416	281	134	1	90	52
2	174	123	48	3	90	49
3	311	184	124	3	89	51
合計	2,955	1,932	987	36		
前年度合計	2,478	1,340	1,105	33		
平均	246	161	82	3	89	50

※ d B : デシベル

(4) 環境騒音調査 市内29地点 (46箇所)

測定日：平成26年3月25日(火)から同月28日(金)まで【昼間】

No	測定地点		騒音の大きさ (dB)			支配音
	用途地域	道路との関係	等価騒音レベル(LEQ)		環境基準	
			平成25年度	平成24年度		
1	準工業	一般地域	54	60	60	一般音
2	準工業	一般地域	50	60	60	〃
3	第1種住居	沿道	73	71	70	自動車音
	第1種低層	後背地	55	45	55	〃
4	近隣商業	沿道	68	67	70	〃
	近隣商業	後背地	54	53	60	〃
5	第1種低層	一般地域	44	44	55	自然音
6	第1種住居	沿道	70	68	70	自動車音
	第1種低層	後背地	54	49	55	〃
7	近隣商業	沿道	76	74	70	〃
	第1種低層	後背地	52	52	55	〃
8	第2種低層	沿道	64	65	60	〃
	第1種低層	後背地	57	58	55	〃
9	第1種中高層	沿道	62	62	65	〃
	第1種低層	後背地	51	45	55	〃
10	第1種低層	後背地	65	62	55	一般音
	第1種中高層	沿道	46	49	60	自動車音
11	第2種住居	沿道	63	66	70	〃
	第1種低層	後背地	48	48	55	一般音
12	第1種中高層	一般地域	45	54	55	自動車音
13	第1種中高層	一般地域	52	55	60	〃
14	近隣商業	一般地域	46	54	65	一般音
15	第1種低層	一般地域	48	53	55	自動車音
16	近隣商業	沿道	77	74	70	〃
	第1種低層	後背地	53	55	55	一般音
17	第1種低層	一般地域	53	54	55	〃
18	近隣商業	沿道	68	66	70	自動車音
	近隣商業	後背地	56	56	60	〃
19	第1種低層	一般地域	46	57	55	〃
20	第2種中高層	沿道	65	65	70	〃
	第1種中高層	後背地	54	55	55	一般音
21	商業	一般地域	63	65	65	自動車音
22A	商業	一般地域	61	62	65	〃
22B	商業	沿道	64	64	70	〃
	第2種低層	後背地	52	55	55	〃
23	第1種中高層	沿道	64	63	60	〃
	第1種低層	後背地	52	51	55	〃
24	準工業	一般地域	54	49	65	一般音
25	近隣商業	沿道	63	68	65	自動車音
	第1種中高層	後背地	46	48	55	一般音
26	第1種低層	一般地域	49	47	60	〃
27	工業	沿道	69	67	70	自動車音
	工業	後背地	50	48	65	一般音
28	第1種低層	一般地域	45	47	60	〃
29	第1種住居	沿道	64	65	70	自動車音
	第1種住居	後背地	48	47	55	〃

※ 後背地の環境基準は、一般地域のものが適用される。

4 その他

(1) 苦情受付件数

(単位：件)

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	26年1	2	3	合計	前年度
大 気 汚 染	0	0	1	2	0	0	0	0	1	0	0	0	4	4
アスベスト相談	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
水 質 汚 濁	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
土 壌 汚 染	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
騒 音・振 動	1	1	0	0	1	1	1	1	1	2	0	1	10	4
低 周 波 音	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
航空機騒音	12	18	27	19	30	15	30	9	4	15	9	25	213	129
地 盤 沈 下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
悪 臭	0	0	0	2	1	2	0	0	0	1	0	0	6	7
雑 草	0	2	2	5	7	5	0	0	0	0	0	0	21	14
そ の 他	3	1	6	3	5	3	7	1	0	1	2	0	32	42
合 計	17	22	36	31	44	26	38	11	6	19	11	26	287	200

(2) 申請書等処理件数

(単位：件)

区 分	平成 25年度	前年度	区 分	平成 25年度	前年度
工 場 設 置 認 可	0	0	指 定 作 業 場 設 置 届	0	1
工 場 設 置 認 定	0	0	指 定 作 業 場 変 更 届	0	1
工 場 変 更 認 可	1	0	指 定 作 業 場 氏 名 変 更・承 継 届	1	5
工 場 変 更 認 定	0	0	指 定 作 業 場 廃 止 届	0	0
工 場 氏 名 変 更・承 継 届	0	1	特 定 施 設 設 置 届	2	0
工 場 廃 止 届	0	0	特 定 施 設 変 更 届	0	0
電 気 供 給 通 知 書	0	0	特 定 施 設 氏 名 変 更・承 継 届	0	0
電 気 供 給 証 明 書	0	0	特 定 施 設 廃 止 届	0	0
地 下 水 揚 水 量 報 告	16	16	特 定 建 設 作 業 実 施 届	51	38
建築物の解体に係るアスベスト対策に関する届出	2	6			

(3) 立入り・測定件数等

(単位：件)

区 分	平成 25年度	前年度	区 分	平成 25年度	前年度
工 場 認 可 関 係	1	0	苦 情 処 理	175	162
指 定 作 業 場 届 出 関 係	0	0	各 種 測 定	166	157
ア ス ベ ス ト 撤 去 工 事 関 係	0	0			

5 環境行政・環境学習の推進

(1) 福生環境市民会議等

ア 福生地域猫の会

第1回～第13回 平成25年度総会・定例会議・地域猫登録団体連絡会議

第1回～第9回 熊川げんき広場バザー出店・ふっさ桜まつりバザー出店

イ かんきょう通信編集会議

環境情報プロジェクト『かんきょう通信』の発行

第34号 3回開催

第35号 3回開催

ウ ふっさ花とみどりの会

会議日程

第1回 4/10 多摩川中央公園フラワーゾーン球根抜きについて

第2回 5/8 やなぎ通り・国道16号の花いっぱい運動について、環境フェスティバルの参加について

第3回 6/12 菜の花の採取作業について

第4回 7/3 多摩川中央公園フラワーゾーン草刈りについて

第5回 8/28 国体歓迎オブジェ作成依頼について

第6回 9/14 多摩川中央公園フラワーゾーン抜根について

第7回 10/9 花いっぱい運動やなぎ通り・国道16号植栽予定について

第8回 12/4 多摩川中央公園フラワーゾーン草刈りについて

第9回 1/24 花いっぱいコンテスト表彰式について

第10回 3/11 平成25年度事業報告等

活動記録

第1回 5/15 やなぎ通り 花の植替え

第2回 5/22 国道16号 花の植替え

第3回 6/2 環境フェスティバル

第4回 6/8 東日本大震災の被災地を花で支援するボランティア活動「東日本に花を咲かせ隊」活動に参加。国営昭和記念公園のチューリップ・ムスカリ球根採取

第5回 6/12 視察研修

第6回 6/17 フラワーゾーン 菜種の回収作業、花壇の堆肥散布作業

第7回 7/8 フラワーゾーンの除草作業について

第8回 9/14 国体オブジェ作成

第9回 10/28 フラワーゾーン コスモス抜き

第10回 10/30 フラワーゾーン チューリップ・ムスカリ球根植栽

第11回 11/21 やなぎ通り (植栽・花抜き)

第12回 11/28 国道16号 (植栽・花抜き)

第13回 12/6 やなぎ通り・国道16号水撒き

第14回 12/13 フラワーゾーン除草作業、肥料撒き

第15回 2/3 やなぎ通り・国道16号水撒き

花いっぱいコンテスト審査関係

第1回 6/24 審査 花いっぱいコンテスト第1次審査会 (春)

第2回 7/10 審査 花いっぱいコンテスト第2次審査会 (春)

第3回 12/18 審査 花いっぱいコンテスト第1次審査会 (秋)

第4回 12/27 審査 花いっぱいコンテスト第2次審査会 (秋)

花いっぱいコンテスト表彰関係

第1回 8/28 花いっぱいコンテスト表彰 (春)

第2回 2/18 花いっぱいコンテスト表彰 (秋)

※雪の影響により式典は中止

(2) 福生市環境審議会

- 平成 25 年 7 月 2 日 ・ 福生市環境基本計画実行計画（平成 25～27 年度）について
平成 25 年 11 月 28 日 ・ 福生市環境基本計画実行計画進捗状況（平成 24 年度）について

(3) ふっさ環境フェスティバル（平成 25 年 6 月 2 日）

出展団体（参加団体）40 団体（一般、企業・事業者・フードブース）

来場者 4,200 人

新宿エコレンジャーショー、わくわくほうせい化学実験ショー、環境フォーラム、我が家のちっちゃなエコ自慢、スタンプラリー、リユース食器使用によるフードブース出展、ダンボール迷路ほか

(4) 市民環境大学 “ふっさ ECO カフェ” 全 6 回

環境問題の学習を通して、環境リーダーの育成を目指し、環境への負荷が少ない持続可能な暮らし方を考えるきっかけとして、畑での大豆栽培を主軸に保存食作り等を行った。

第 1 回	ダイズ種まき	(54 人)
第 2 回	ダイズ定植	(52 人)
第 3 回	クラフトアート	(44 人)
第 4 回	保存食作り	(47 人)
第 5 回	ダイズ脱穀	(31 人)
第 6 回	豆腐&味噌作り	(47 人)

(5) 水辺の楽校 “多摩川で遊ぼう” 全 12 回

第 1 回	ヨモギ団子を作って食べよう	(28 人、16 人、15 人)
第 2 回	多摩川バードウォッチング	(19 人、13 人、14 人)
第 3 回	環境フェスティバルに参加しよう！～プールのヤゴ救出作戦～	(46 人、30 人、8 人)
第 4 回	多摩川の魚を捕まえよう	(18 人、14 人、9 人)
第 5 回	多摩川の源流へ行こう	(7 人、7 人、6 人)
第 6 回	いかだで冒険、多摩川で泳ごう	(雨天中止)
第 7 回	バッタをゲット	(9 人、5 人、11 人)
第 8 回	多摩川の魚を捕まえよう	(14 人、7 人、13 人)
第 9 回	多摩川バードウォッチング	(16 人、11 人、9 人)
第 10 回	ネイチャークラフト	(14 人、9 人、8 人)
第 11 回	川原のゴミ拾い&餅つき大会	(10 人、7 人、8 人)
第 12 回	手作り凧あげ	(3 人、2 人、6 人)

※（ ）内の参加人数は子ども、保護者、ボランティアの順で表示

(6) 水辺の楽校 “多摩川サポーターズ” 全 4 回

第 1 回	かくれんぼ広場の倒木処理	(16 人)
第 2 回	いかだを作ろう	(雨天中止)
第 3 回	かくれんぼ広場の倒木処理&焼き芋	(24 人)
第 4 回	マス・ヤマメ釣り教室	(30 人)

(7) 川の志民館利用者数

利用者数一覧

(単位：人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
88	40	61	80	77	19	19
11月	12月	26年1月	2月	3月	合計	前年度
85	72	69	31	36	677	1,245

※開館日数：113日（土・日曜及び小・中学校夏休み期間）

※イベント（水辺の楽校）利用者も含む。

(8) 環境学習教員研修

第1回 フィールドで学ぶ (14人)

「水質調査、生物調査、川の安全学習」

第2回 福生の水と緑を歩く (13人)

(9) 環境学習講座

市民を対象に、環境意識の醸成を図ることを目的とし、全5回の環境学習講座と eco 検定(環境社会検定試験)合格を目指す方に向けた直前講座を実施した。

環境学習講座 参加者 9人

第1回 9/21 開講式、eco 検定情報、環境学習について、
持続可能な社会に向けて、わたしたちの地球と自然環境

第2回 10/5 環境問題の実態、環境をめぐる世界の動き

第3回 10/19 環境と社会、環境と経営、環境と商品

第4回 11/2 わたしたちの暮らしと環境、環境と共生するために

第5回 11/16 最近の環境話題、まとめ

eco 検定直前講座 参加者 5人 11/30

(10) 地域猫去勢・不妊手術費助成事業

オス	メス	計
38匹	42匹	80匹

6 地球温暖化対策

(1) 地球温暖化対策設備普及事業助成金（住宅用）

設備種別	申請件数	助成金額計
太陽光発電システム	38	3,455,000
太陽熱利用システム	0	0
CO ₂ 冷媒ヒートポンプ給湯器	9	245,000
ガス発電給湯器	0	0
燃料電池	3	300,000
合計	50	4,000,000

※ 平成 24 年度までは、潜熱回収型ガス給湯器及びペレットストーブ含めた 7 設備が対象。潜熱回収型ガス給湯器は普及が進み一般的となっていること、ペレットストーブは助成金申請実績が非常に少ないことから平成 25 年度は廃止としている。

※ 本事業は平成 25 年度をもって終了し、地球温暖化対策設備を含めた商工会の事業へ移行

(2) 次世代モビリティ活用モデル事業

シェアリングの手法を用いて、市民等に次世代モビリティ（電気自動車及び電動アシスト自転車）を利用できる機会を広く提供し、石油燃料を使用する自動車利用からの転換により市域における地球温暖化対策を推進するとともに、観光交流人口を増やし地域振興・活性化を推進することを目的とし、市民に限らずより多くの人々が利用できる新たな交通システムの構築と運用による実証実験を引き続き実施し、平成 25 年度をもって実証実験を終了とした。

ア カーシェアリング

実証実験の結果、民間への事業移管は収支面や採算性の面から不可能であり、市内に民間のカーシェアリング事業者が参入している状況や先駆的にカーシェアリング実証実験を実施した自治体の状況から平成 25 年度の実証実験をもってカーシェアリング事業は終了とし、電気自動車については、平成 26 年度以降は公用車に移行する。

(ア) 仕組み

- a 会員登録し、利用したい時間を WEB で予約
- b 予約した時間に予約したステーションに行き、WEB または IC カードで車両の解錠
- c 利用後は予約したステーションへ車両を返却し、WEB または IC カードで車両を施錠
- d 支払は利用月ごとにクレジット決済

(イ) ステーション

- a まちなかおもてなしステーション くるみる ふっさ
- b 福生市役所ステーション

《実績》

	平成 25 年度	平成 24 年度	平成 23 年度
会員数（申込数）	67 名	59 名	38 名
収入	789,650 円	863,540 円	109,500 円
平均収入（月）	65,804 円	71,961 円	43,800 円
二酸化炭素削減量※	4,566.9 kg-CO ₂ (走行距離 15,748 km)	5,475.4 kg-CO ₂ (走行距離 18,881 km)	837.8 kg-CO ₂ (走行距離 2,889 km)
シェアリング利用	3,447.8 kg-CO ₂ (走行距離 11,889 km)	3,695.4 kg-CO ₂ (走行距離 12,743 km)	636.2 kg-CO ₂ (走行距離 2,194 km)
公用利用	1,119.1 kg-CO ₂ (走行距離 3,859 km)	1,780.0 kg-CO ₂ (走行距離 6,138 km)	201.5 kg-CO ₂ (走行距離 695 km)
平均削減量（月）	380.5 kg-CO ₂ (走行距離 1,312.3 km)	456.2 kg-CO ₂ (走行距離 1,573.4 km)	335.1 kg-CO ₂ (走行距離 1155.6 km)
備考			平成 24 年 1 月 15 日開始のため平均値の分母は 2.5 か月

※ 平均燃費 8 km/l のガソリン車で走行した場合のガソリン使用の値をベースとし、ガソリンの二酸化炭素排出係数は 2.32 で算出（小数第 2 位切捨て）

イ こぐまる（サイクルシェアリング）

実証実験の結果、民間への事業移管は収支面や採算性の面から不可能であるが、直営による事業実施は福生市の河岸段丘の地形の解消のための新たな公共交通システム、ガソリン使用自動車からの乗り換えによる地球温暖化対策、市内の回遊性の向上や放置自転車の解消等様々な可能性があり、会員数も徐々に伸びている傾向も見られることから平成26年度以降は本格実施とし、愛称も「たっけー☆☆サイクル」（略して「たっ☆クル」）として活用を図る。

(ア) 仕組み

- a まちなかおもてなしステーション くるみる ふっさで会員登録
- b 利用したいステーションに行き、借りたい自転車を選び、登録カードで鍵とバッテリーを貸出返却ボックスから取り出し、自転車の利用開始
- c 市内4箇所あるステーションへ自転車を返却、鍵とバッテリーを貸出返却ボックスへ返却
- d 支払は利用月ごとにクレジット決済

(イ) ステーション

- a まちなかおもてなしステーション くるみる ふっさ
- b 福生駅西口ステーション（福生駅西口自転車駐車場内）
- c 牛浜駅東口ステーション（牛浜駅東口自転車駐車場内）
- d 拝島駅北口ステーション（拝島駅北口自転車駐車場内）

《実績》

	平成25年度	平成24年度	平成23年度
会員数	338名	268名	116名
収入	178,700円 (シェアリング利用134,350円) (一時利用※44,350円)	193,000円 (シェアリング利用147,500円) (一時利用※45,500円)	38,600円
平均収入 (月)	14,891円	16,083円	19,300円
二酸化炭素 削減量	4027.1 kg-CO ₂ (利用時間 83,654分)	3862.7 kg-CO ₂ (利用時間 80,239分)	567.9 kg-CO ₂ (利用時間 11,798分)
平均削減量 (月)	335.5 kg-CO ₂ (利用時間 6971.1分)	321.8 kg-CO ₂ (利用時間 6686.6分)	283.9 kg-CO ₂ (利用時間 5,899分)
備考	※一時利用は平成24年度から設定(収入の項目にのみ反映)	平成24年9月1日から料金改定。愛称を「こぐまる」としてイメージキャラクターも設定(公募) ※一時利用は平成24年度から設定(収入の項目にのみ反映)	平成24年2月1日開始のため、平均値の分母は2か月

※ 自転車平均速度 10 km/h（分速 166m）として、利用時間から距離を算出。その距離を平均燃費 8 km/ℓ のガソリン車で走行した場合のガソリン使用の値をベースとし、ガソリンの二酸化炭素排出係数は 2.32 で算出（小数第2位切捨て）

※ 平成23年度事務報告「主要な施策」における CO₂削減量の計算根拠は、サイクルシェアリングについて、利用期間から算定される走行距離の半分がガソリン車からの乗り換えと仮定し、積算した。平成24年度事務報告から最大の削減効果を想定し、計算根拠においては利用期間から算定される走行距離全てをガソリン車からの乗り換えと仮定して積算している。

(3) 急速充電器利用状況

地球温暖化対策としての電気自動車の普及を目的として、平成 23 年度から電気自動車用急速充電器の 24 時間無料開放を行ってきたが、都内における一般開放された急速充電器が一定数を超えたことを踏まえ、平成 25 年 10 月 1 日から課金を開始し、受益者負担による公平性の確保を図った。

《利用料》 1 回 500 円 (最大 30 分)

《実績》

	充電回数	充電量	利用料金
平成 25 年 10 月	22 回	163.97 kwh	11,000 円
11 月	20 回	162.90 kwh	10,000 円
12 月	36 回	324.00 kwh	18,000 円
平成 26 年 1 月	27 回	234.24 kwh	13,500 円
2 月	25 回	193.46 kwh	12,500 円
3 月	19 回	134.86 kwh	9,500 円
合 計	149 回	1,213.43 kwh	74,500 円

(4) 福生スクラム・マイナス 50%協議会

第 1 回 平成 25 年 6 月 25 日

- ・平成 24 年度事業報告及び決算報告
- ・平成 25 年度事業と予算について

(5) 普及啓発等事業の実施について

ア ふっさライトダウンキャンペーン 2013 (全 2 回)

イ みどりのカーテン大作戦 (参加家庭 15 件)

7 環境マネジメントシステムの運用

平成 20 年度から福生市環境マネジメントシステムとして『環境自治体スタンダード (LAS-E)』を運用。平成 21 年 7 月に LAS-E 第 1 ステージ合格。平成 24 年 7 月 LAS-E 新規格による第 1 ステージ第 3 ステップ合格。平成 25 年 7 月に第 2 ステージ第 1 ステップに合格

平成 25 年度の取組みは LAS-E 規格第 2 ステージの内容として事務事業での環境配慮に加え、環境関連施策・事業における進捗状況の確認等を含めた取組みを進めた。また、外部監査については監査委員及び実行部門の負担、監査時間の短さを改善するため抽出監査とした。

(1) 外部監査

日 程	監 査 対 象	内 容
平成 26 年 1 月 28 日、29 日、30 日	59 実行部門のうち抽出 31 実行部門、推進組織及び事務局	LAS-E 規格第 1 ステージ及び第 2 ステージの要求事項及び運用状況に関する監査

(2) 予備監査（平成 25 年度から名称を「内部監査」から「予備監査」に変更）

日 程	監 査 対 象	内 容
平成 26 年 1 月 15 日	監査対象となった部署のうち、希望部署 9 箇所（議会事務局、リサイクルセンター、障害福祉課、スポーツ推進課、公民館、3 小、3 中、社会福祉協議会、熊川地域体育館）	職員で組織された内部監査委員による LAS-E 規格の要求事項及び運用状況に関する監査

(3) 推進組織会議等

区 分	開催回数	主 な 議 事 内 容
環境推進委員会	3 回	24 年度実績の検証と 25 年度方針、目標設定について
目標設定チーム会議	1 回	24 年度独自目標の監査と 25 年度目標の審議について
環境マネージャー会議	3 回	24 年度実績の検証と 25 年度目標に向けた具体的取組手法の検討、監査等について
監査チーム会議	3 回	監査の実施方法の確認、模擬監査、監査結果の振り返り

(4) 研修活動の実施

研 修 名	日 程	対 象	内 容
LAS-E 新人研修会	平成 25 年 4 月 3 日	平成 25 年度新規採用職員	LAS-E 全般及び具体的な取組みについて解説
LAS-E 講習会	平成 25 年 8 月 1 日、2 日（全 8 回）	職員、嘱託職員、小・中学校教職員、指定管理施設職員	LAS-E 規格の第 2 ステージ、エコガバナンスの考え方、取組みのポイントについて解説。 H25 目標、具体的な取組みの解説をハンドブック（数値目標と取組み編）を用いて解説。
監査直前説明会	平成 26 年 1 月 23 日（全 3 回）	全職員（希望者）	監査の視点や方法、受け方を解説

8 外来生物現況把握調査

特定外来生物であるアライグマ及び外来生物であるハクビシンの市内での生息状況及び被害状況の把握並びにアライグマ、ハクビシンの捕獲防除による自然生態系の保全、農産物被害、感染症被害等を未然に防止することを目的として、市、事業者、市民等関係者の協働により、生息状況調査、捕獲、防除等を実施した。

	目撃情報（件）	捕獲防除実績（頭）
アライグマ	6	2
ハクビシン	10	2
不明	0	—

9 緑化推進事業

(1) 草花の苗配布

苗 の 種 類	配 布 数 (株)
サルビア・ペチュニア	16,300
マリーゴールド	18,700
パンジー・ビオラ	30,330
葉ボタン	7,500
合 計	72,830

(2) プランター等植栽事業

植栽地点	内 容
やなぎ通りプランター	(春) センパペゴニア 440 株
	ニチニチソウ 440 株
	(秋) ビオラ 1,100 株
国道 16 号線ハナミズキ植樹ます	(春) センパペゴニア 424 株
	ニチニチソウ 424 株
	(秋) ビオラ 848 株

10 緑化保存事業

(1) 保存樹林地

種 別	件数 (件)	筆数 (筆)	面積 (㎡)
宅 地 介 在 山 林	5	7	4,801.00
一 般 山 林	4	7	1,348.00
合 計	9	14	6,149.00

(2) 保存樹木

件 数	本 数
41 件	185 本

(3) 保存生垣

件 数	箇所数	延 長
156 件	163 箇所	3260m

(4) アメリカシロヒトリ防除事業

実施期間 平成 25 年 4 月から 9 月まで

箇所数 1 箇所

本数 21 本